

射水市教育委員会 8 月定例会会議録

開会日時 平成 2 8 年 8 月 2 9 日 (月) 開会 午前 9 時
閉会 午前 1 0 時 1 5 分

会議場所 下庁舎 2 0 1 会議室

出席委員

長井教育長、織田委員、宮原委員、眞岸委員、大代委員

会議事件説明員

寺岡事務局長、片岡副参事 (生涯学習・スポーツ課長)、原学校教育課長、亀谷教育センター所長、原田新湊博物館長、杉本中央図書館長、釣谷給食センター所長、杉高等学校教育課副主幹、菅原学校教育課長補佐、島生涯学習・スポーツ課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前 9 時、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 事務局長の報告

(1) 射水市議会 9 月定例会会期日程について

(2) 平成 2 8 年度 9 月補正予算について

(3) 射水市議会 9 月定例会提出議案について

事務局長が資料 1、資料 2、資料 3 に基づき説明した。

3 協議事項

(1) 教育に関する事務の点検・評価報告書 (平成 27 年度分) について

学校教育課長が資料 4 に基づき説明した。

(2) 作道小学校放課後児童クラブ室の整備について

生涯学習・スポーツ課長が資料 5 に基づき説明した。

4 各課等の連絡事項及び報告事項

学校教育課長補佐が資料 6 に基づき説明した。

5 その他

次回教育委員会の定例会開催日時について

日時・場所は、9月29日(木)午前10時から新庁舎401会議室

6 議事

(1) 教育に関する事務の点検・評価報告書(平成27年度分)について

[委員] 外国人児童生徒への日本語学習について今後課題としてはどうか。国が進める外国人の受け入れ拡大に伴って今後、外国人児童生徒はさらに増えることが考えられる。

[事務局] 本市は県内で外国人児童生徒の割合が一番多く、国籍も多様化してきている。学校へは県から外国人指導員を派遣していただいているが、まだ人数が少なく、加えて多言語化してきており、学校は学習等において苦慮していることから、来年度は課題として記載したい。

[委員] 日本語が分からない保護者もおられるため、学校からの連絡や思いが伝わらないことがある。学校と家庭を繋ぐためにも、スクールソーシャルワーカーにも外国語が分かる方を増やしてほしい。

[委員] 今後、アクティブ・ラーニングが導入され若手教員に加え中堅教員の育成も重要になると思う。

[委員] 地元以外のコミュニティセンターの事業に参加することはできるのか。

[事務局] 基本的には地元の方が対象であると思うが、参加の可否については各コミュニティセンターの判断となる。

[委員] 子供達が自分のふるさとに親しみを持ってもらうため、コミュニティセンターの生涯学習講座に地域の方と学び合う、ふるさと学習事業を盛り込んでほしい。

[事務局] 現在、ふるさと学習事業を実施しておられ地域もあるが内容は様々である。今後、コミュニティセンターと情報交換しながら、事業の充実を進めていきたい。

[委員] 新庁舎開庁後、芸術文化に関する業務が市長部局へ移管するが、事務の所管はどのようになるのか。

[事務局] コミュニティセンターが行う各種活動の所管は引き続き、教育委員会であるが、市全体が対象となる芸術文化の振興については市民生活部が所管すると認識している。なお、芸術文化の振興は各域振興会の活動がベースである。

[事務局] 前のご質問のありましたスクールソーシャルワーカーが減少しているが、相談回数が増えていることについては、スクールソーシャルワーカー全体の人数は減っているが、1人当たりが受けた相談回数が増えたことによるものである。

[教育長] 今年度の事業は、この報告書の延長にあり、今年度も各施策にしっかり取り組んでいきたい。

午前10時15分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。